

# 野菜の緊急需給調整対策

- 野菜の中でもキャベツ、たまねぎ等は露地で栽培されることから天候の影響を受けやすく作柄・価格の変動が大きいことや、消費量が多いことから、これらの価格と供給の安定を図ることは、国民消費生活上も極めて重要であることから、緊急需給調整事業を実施。
- 価格低落時には、生産者側の発意により、生産者も1/5を拠出した資金を用いて、出荷抑制、加工用販売、フードバンクへの提供等を実施。価格高騰時には、供給の安定に向けた要請を関係者に行うほか、出荷促進を実施。

## 価格低落時の対策

### ○ 産地調整（出荷抑制）

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制を実施。  
生産者に対しては、平均価格の7割相当分を助成

### ○ 加工用販売、市場隔離（その他市場隔離）

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、当初市場向けであったもののうち、供給過剰分を新たな加工用途に出荷。  
また、その他の市場隔離として一時保管等を実施。  
生産者に対しては、平均価格の7割相当分を助成。

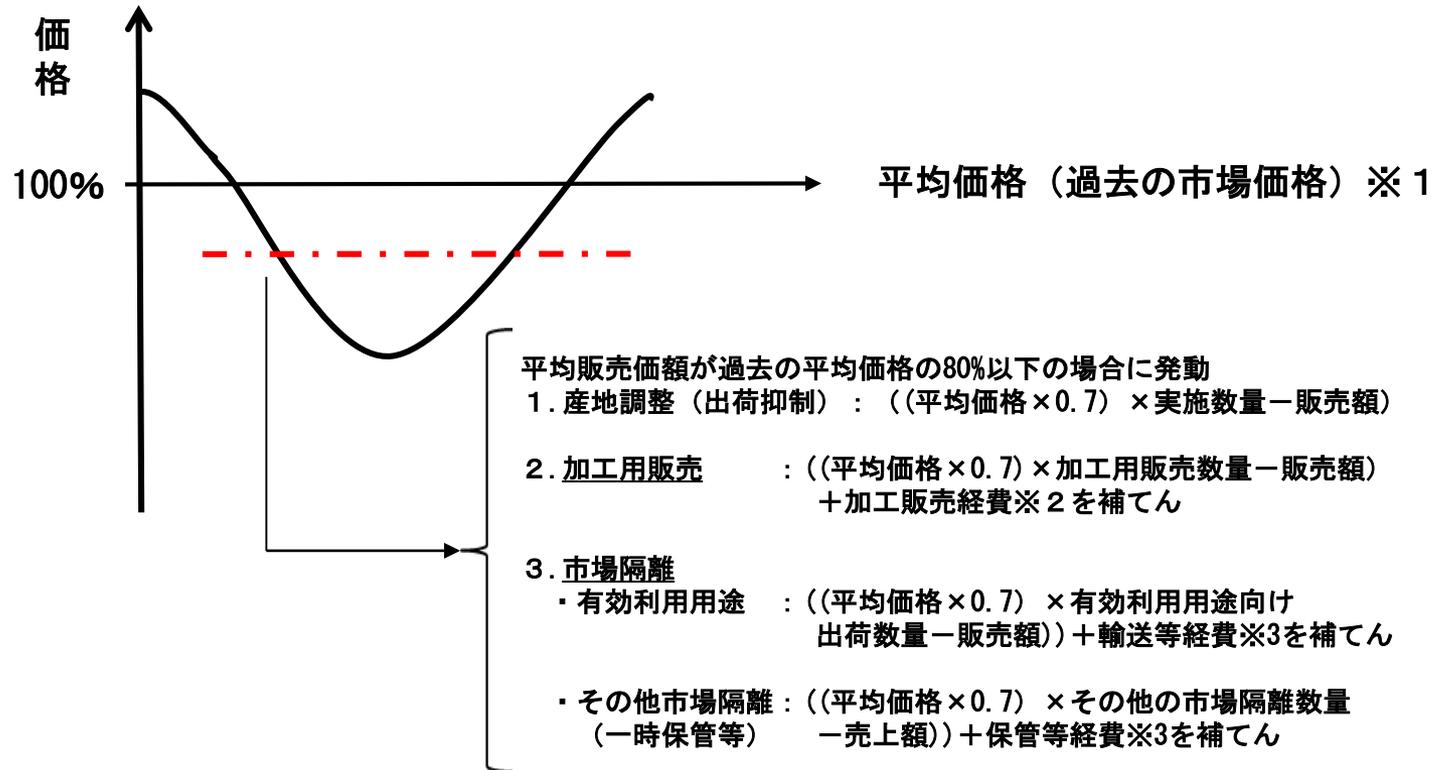
### ○ 市場隔離（有効利用用途）

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、加工、飼料化、フードバンクへの提供等の有効利用に努める。  
生産者に対しては、平均価格の7割相当分を助成。

## 《助成の仕組み》

国80%：生産者20%

※国、生産者の拠出により、  
独立行政法人農畜産業振興機構に資金を造成



※1 平均価格は、対象出荷期間中に対象市場ブロックに出荷された野菜の過去6年間の卸売市場価格の平均。

※2 加工用販売に要した経費は加工用販売額を限度とする。

※3 算定式中有る販売額を差し引いて得た額が負である場合には0円として、これに経費を加えるものとする。

対象野菜：重要野菜（キャベツ（周年）、たまねぎ（周年）、秋冬だいこん及び秋冬はくさい）  
調整野菜（春だいこん、夏だいこん、にんじん（周年）、春はくさい、夏はくさい、レタス（周年））

## 価格高騰時の対策

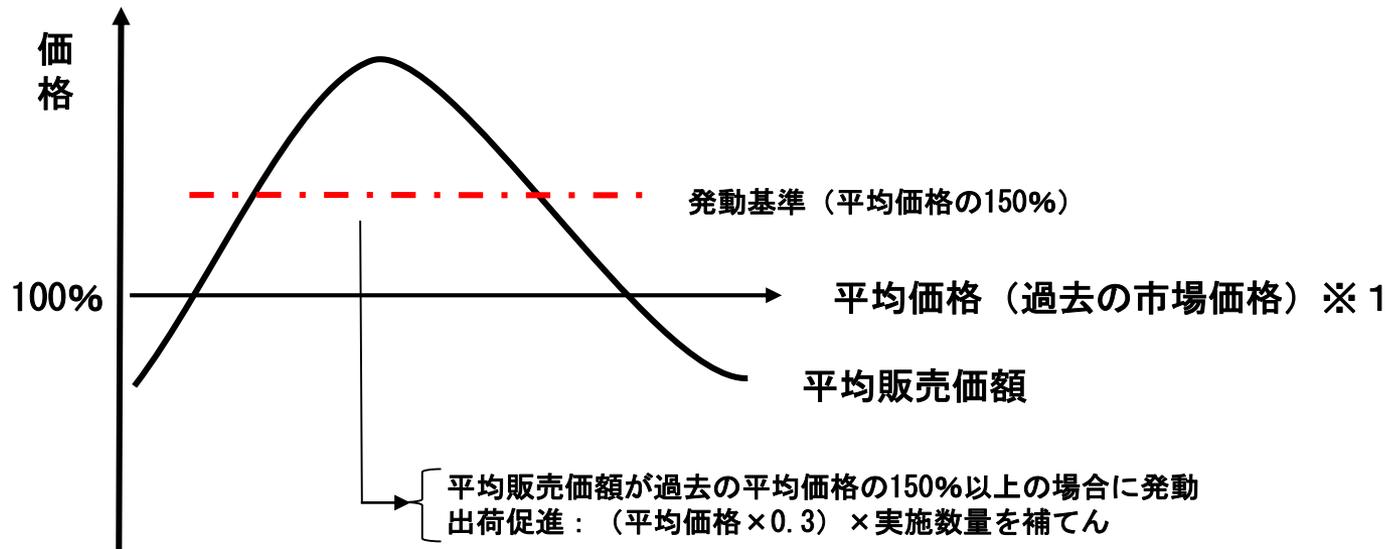
### ○ 出荷促進

キャベツ、はくさい等の露地野菜の出荷を促進するため、早取り等により出荷を促進。  
生産者に対し、平均価格の3割相当分を助成。

対象野菜：重要野菜（キャベツ（周年）、たまねぎ（周年）、秋冬だいこん、秋冬はくさい）  
調整野菜（春だいこん、夏だいこん、にんじん（周年）、春はくさい、夏はくさい、  
レタス（周年））

### 《助成の仕組み》

国80%：生産者20%  
※国、生産者の拠出により、  
独立行政法人農畜産業振興機構に資金を造成



※1 平均価格は、対象出荷期間中に対象市場ブロックに出荷された野菜の過去6年間の卸売市場価格の平均。